

防災倉庫(船田会館・見晴台公園)防災資器材の点検完了

6月6日(日)防災資器材の点検を行いました。資器材を探すのが大変なので、資器材一覧のNo.を商品に直接又は黄色のガムテープを貼ってマジックで記入しました。見晴台公園防災倉庫は天井や雨樋に枯葉が蓄積していたので清掃をしました。賞味期限が切れた炊き出しセット白米50食4箱、蜂蜜スティック240本、長期保存飲料水2ℓ6本入り15箱、有効期限が切れた10型消火器1本を購入しました。各防災倉庫内の防災資器材一覧表は最新版に差し替えてあります。

□5月20日令和4年度の自主防災組織資器材助成申請した防災資器材

- a) 医薬品セット(救急箱詰替用) 3個
- b) アルカリ乾電池(単三、1セット32本) 1組
- c) ヘッドライト 16個
(夜間作業に必要、以前から購入要望有り)
- d) 副食(レトルトカレー30食入り) 3箱
- e) アルミブランケット 1枚

□防災部員募集中

現在、防災部は男性16名で活動中、昨年から防災部員30名を目標に掲げて募集をしています。防災部の集まりは年4回(4月・6月・9月・12月の第一日曜日 午後4時から1~2時間程度 船田会館)ですので、ご協力いただける方は男女問わず高橋 修一までご連絡ください。

□家具転倒防止器具や火災報知器の取付支援実施中

今年も家具転倒防止器具や火災報知器の取付支援を行っています。一人暮らし・高齢者世帯の希望者は取り付けに伺いますので防災部に相談してください(取付金具は実費)

西日本豪雨から4年、梅雨明けが早い今年は類似点が多いので注意

2022年ゲリラ豪雨発生パターン



記録的な暑さと豪雨災害をもたらした2018年は、梅雨明けが関東甲信で6月29日と、当時最も早いものでした。今年、気象庁は6月27日「関東甲信地方、東海地方、九州南部が梅雨明けしたとみられる」と発表しました。関東甲信地方は平年より22日早く、統計開始以来最も早い梅雨明けです(水不足も心配)梅雨明けが早い今年は2018年と類似点が多いので、今年の夏も極端な大雨と極端な暑さの両方に注意が必要となりそうです。台風やゲリラ豪雨、線状降水帯などによる土砂災害の予兆に注意してください(早めに備蓄食料の賞味期限や非常持ち出し袋の用意をして置きましょう)

土砂災害(がけ崩れ・土石流など)の予兆に注意!

こんな時は早期自主避難

- ① 斜面の変形、亀裂
- ② いつもと違う樹木の傾き
- ③ 根切れの音
- ④ 斜面から腐った土や花火の火薬のような臭いがする
- ⑤ 斜面から水がわき出す
- ⑥ 斜面から泥水や小石がバラバラと落ちてくる
- ⑦ 長雨が降り続いた後のゲリラ豪雨

